

◎ 第2回会議での意見一覧（意見書の原文まま記載）

	利用基準	理由
1	道のり2kmもしくは目標物区切りでないのではないかと思います。（例：川や鉢形でいうとセブンなど）	道のり2kmであれば、Google Mapを使用して各自調べることができる。また目標物区切りであれば「自分の家はどうなのか」わかりやすいのではないかと思います。
2	通学の距離で検討する。また、男衾地区2km以上の児童との公平性を考慮すべき	公平性に配慮して決定する。
3	2kmを基準とする（道のりと言いたいが、調査に困難さがあるため直線）	アンケート結果と合わせて、バスを運行するに当たり費用面を考慮して。 ただし、2kmの基準は徒歩通学路の安全面を確保。
4	距離を目安に。直線で2km	小学生低学年のためにも2km程が適当と考える。
5	2km以上（保護者目線であれば道のり？学校、教育委員会なら直線？）	アンケート結果による。
6	1.5km	・城南小学校までの通学路が坂道のため、子ども達の負担を考慮したことと、児童数減少が想定される為、安全面の確保から1.5kmと考えた。 ・小園地区については、タクシー利用が考えられる。 ・保護者の意向を聞いても良いかと考える。
7	道のり2km又は、道の登り下りなどを考え、子どもの足で30分以上かかる児童を対象。	学校が上の方の土地にある為、ただ平たんの道を歩くだけとは違う。ランドセルも重いを持ち、その他荷物も多いので大変。
8	道程2km	アンケート結果をはじめ、総合的に根拠立っているため
9	約1.5km（直線）	・道のりを考えた結果（約2km） ・安全を考えた結果（シカ、イノシシ、クマ等） ・自由選択（歩きたい。乗車したい）
10	道のり2kmで、その近くの集合場所を目安とする	人数にもよりますが、バスのキャパや大きさを決定するのにある程度集合場所に集まってもらい、そこから通学できる方が効率的であると考えたため。
11	1.5km以上	登り坂・下り坂も多いため。2km以上だと該当者は少ないのでは。1.5km以上で今通学している距離より長くなってしまう児童の事も考えてもらいたいです。
12	1.5km	経験上妥当な距離と思う（交通手段の方法も色々検討する）
13	直線1km以内→徒歩 直線1km以上2km未満→希望制 直線2km以上→バス	これまでの資料をもとに判断した。